

第 38 回 一宮市地域公共交通会議議事録

【開催日時】

令和 5 年 5 月 26 日（金） 9：30～12：00

【開催場所】

オリナス一宮 3 階 多目的ホール

【傍聴人】

9 人

【議事内容】

1. 開会

2. 議題

報告事項

(1) 市内バス路線等の利用実績

- ・事務局、名鉄バスより一宮市内を運行する路線バス（iーバス、名鉄バス）、iーバスミニの利用実績を報告

《意見・要望》

- ・大変厳しい状況であり、特に定期券利用が戻ってきていない。適切なダイヤにするなど、今後のあり方を検討したい。
- ・名鉄バスと同様であるが、在宅勤務など新しい生活様式となったときに、それへの対応が必要であると考え。知恵を絞り考えていくことが大事であり、安全安心な運転も心掛け頑張っていきたい。
- ・交通事業者だけに負担をお願いするのではなく、一体となって議論していきたい。
- ・前回会議の資料に加え、中部運輸局資料の様式を活用した資料を提示している。単年度の数値を見るだけではバス経営状況は分からない。また、利用者数や費用等の関連もあるため、現在の状況を関係者に知ってもらうことが重要であり追加している。公共交通計画の中で、モニタリングを提案すると思うが、市として何を重視してチェックする

かは、今後の議論となる。

- ・計画策定の中で、どのようにモニタリングしていくか議論が必要である。例えば、恵那市では全便で乗降カウントを実施し、モニタリングを行っている。

- ・資料説明の中で使用された言葉について、「薬局」と「ドラッグストア」では、市民イメージが異なる。単語・言葉遣いについては、今後の市民との議論の中で、ご留意いただきたい。

- ・ドラッグストアやスーパーなどへの買い物は、楽しいなどの生きがいに繋がっている。バスは病院への通院利用というイメージが多いと考えるが、このような楽しいイメージにつなげることで、良い公共交通となっていくのではないか。ぜひ、そのような計画にしたい。

報告事項

(2) 社会福祉法人による買い物支援の実施状況について

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・もっと実施したいというような意見はあるか。どのように進めたらよいか。

→生活支援コーディネーターを配置し、地元を回る中で市民が必要なことをお聞きし、空いている車両をマッチングできた地域で実施している。約10人程度、買い物支援を求めの方が同じ地域に居れば、支援の可能性はある。お話があれば、適宜、対応したい。

(高年福祉課より回答)

《意見・要望》

- ・買い物支援は、公共交通ではないが、この会議や計画でも扱っていききたい。

協議事項

(3) 公共交通協働推進事業計画について

- ・事務局より資料説明

《意見・要望》

・コロナ禍の影響で、公共交通協働推進事業計画も現在の計画を延長する。今年度を実施する重点施策を紹介した。なお本計画について、一宮市は詳細な内容まで提案いただいております、他市町よりも積極的に取り組んでいる。この中から、新しい公共交通計画へ引き継いでいけるようにしたい。そのような視点からも、ご意見をお願いしたい。この内容で実施してよいか。

《協議結果：全員賛成》

協議事項

(4) iーバス尾西南コース停留所の名称変更について

- ・事務局より資料説明
- ・名称変更について、この名称でよいか。

《協議結果：全員賛成》

報告事項

(5) 公共交通に関する住民懇談会について

- ・事務局より資料説明

《追加説明》

・課題の多い連区から開始しており、住民懇談会で議論された意見については、現場を何度も訪問し、より良い公共交通に向けて検討を進めている。(会長)

《質疑応答》

・住民懇談会に参加している方はどのような方か。今後の他地区についても、同様の開催様式を想定しているのか。

→幅広い年齢層の参加となるよう、地域の方に推薦していただき、参加していただいて

いる。内容については、名古屋大学と連携しながら、ワークショップ形式で意見を出し合い、議論する場としている。(事務局より回答)

・町内会長等から可能限り幅広い年齢層へ声掛けしていただいていると捉えたが、結果としてはどうか。

→結果として、高齢者の参加が多いが、サラリーマンの方、女性の方にも参加いただいている。学生や20～30歳代の参加が少ない状況である。(事務局より回答)

・参加依頼に対し努力はしているが、若干偏りが出ていることについては理解した。他の地区については、1回のみ開催か、複数回を予定しているのか。

→基本的に少なくとも1回は実施する。(事務局より回答)

・地区において、実際の声かけは誰が担っているのか。

→連区長、地域づくり協議会の会長等から地域の方へ調整を依頼している。(事務局より回答)

・住民懇談会には参加していないが、個別の要望を出すことは可能か。

→この会議は、個人の意見をお聞きする場ではないが、団体等からの意見をお聞きすることは可能である。(会長より回答)

・社会福祉協議会の事務所が移転されたが、公共交通が不便な場所となっている。花池バス停から事務所まで400m離れているが、点字ブロックがない、交差点に信号がない、歩道が途切れているなど、危険な状況にある。道路改善が可能か、バスルートの変更も含め、このあたりの整備が可能かお聞きしたい。ボランティアにも限りがあるため、バス停からの道路改善をお願いしたい。

→現在の利用者もいるため、バスルートの変更は可能性が無くはないが、難しい。道路改善の方が、可能性が高い場合もある。一つ一つ対応していく必要があるため、道路管理者とも話をして頂ければよい。(会長より回答)

《意見・要望》

・地域づくり協議会、町内会長を通して参加を促しても、例えば、子ども会などへ情報が

行っていないことも多々ある。多様な意見を拾うことも目的であり、参加者や議論結果が偏った内容とならないように、情報発信の改善に努めていただけると良い。

・木曾川・北方においては、明らかに地域公共交通の変更が必要であるため、経験上、最低3回は開催する必要があると考えている。他の地区については、地域の公共交通を変えないといけないのかも把握・議論することを目的としており、最低1回は開催したい。参加者の偏りについては、地区によっても異なっており、最初からベストメンバーは難しい。議論結果を見て、更に地域で必要な方へ声掛けをお願いしたい。意見を言う方ばかりを集めて取り組んでも、上手くいく訳ではない。一方的に意見を言う・聞くのではなく、議論しながら、双方の知見を活かしていくことが重要であると考えている。

・木曾川連区は、地域づくり協議会と連区長で事前に参加者を検討し、町内会の代表、地域づくり協議会に参加の若い方、女性の方に来ていただいた。性別や年齢を考慮して選定した。

・加藤先生は、長年、会議だけではなくこのような細かいところに拘られている。交通事業者としては大変ではあるが、良い方向となるよう、一宮市でもぜひ地域の皆様と連携して進めていきたい。

・公共交通の市民意見の把握については、アンケート調査を実施する市町が多い。住民懇談会は大変効率の悪い方法ではあるが、地域で公共交通を利用し、地域の方と議論し、人の動きを見て、議論・検討することが重要と考えており、実践している。現実問題として、多様な方に参加していただくのは困難である。一方、対象となるボリュームゾーンがあり、利用が少ない方の意見把握も重要であるが、それへの対応までは難しい。そのため、声掛けのボリュームゾーンも検討が必要である。できる限りの範囲で頑張るしかないが、地域の方と一緒に考えながら進めたい。

・例えば、高校生など公共交通を利用してもらえる学生の参加は有意義である。ただし、高校生の参加を望む場合は、平日昼の開催はできないなど配慮がいる。

(6) 第3次一宮市公共交通計画について

報告事項

■第2次計画の評価・検証と現状の課題

- ・事務局より資料説明

《意見・要望》

・2点、タクシー協会として議論を進めたいと考える。1つ目は課題として、iーバスミニの改善があげられている。現在運行を協力しているが、売り上げとしては大変厳しい事業となっている。そのため、すべての公共交通機関（複数のタクシー事業者）が入るべきと考えており、他社も参入するためには、時間制の運行を導入していただきたい。2つ目、お買い物支援については、浅井地区が多くあげられているが、名鉄タクシーは営業地区外となっている。また、タクシーの営業圏域の問題があり、iーバスミニの運行においては、非効率な配車を強いられている。これらの問題を解決できるよう、タクシー営業圏域の拡大ができないか、柔軟な発想をもって、多様な移動支援を行えるようにしたい。交通事業者もチャレンジが必要と考える。また、中核市の一宮市で実践できれば、全国に展開できると考える。ぜひ、取り組みを進めたい。

・タクシーの営業圏域については、大きな課題となっている。現在のiーバスミニの運行委託については、大変非効率な運行となっており、提案いただいたような改善につなげたい。浅井地区において、iーバスミニとタクシー、バスの拠点設定などが考えられる。多様な交通事業者の協力が必須の時代となっており、江南市側の協力も想定できる。地域公共交通会議できちんと議論することで、方策が見いだせるのではないかと考える。

- ・設備投資が必要であるが、中長期的には有効であると考えている。

・乗務員が全く足りない現状がある。計画策定をきっかけとして、一宮市で勤務・常務してくれる方を募集するような、大々的なキャンペーンを実施したいと考えている。計画実現には必要であり、計画策定とリンクして取り組みたい。乗務員の給料改善にまでつなげることで、交通事業者からも積極的に協力してもらえる計画・事業としていきたい。

・タクシーの営業圏域については、問題点・課題に追加しても良いと考える。深夜増便の実現に向けては、乗務員を地域で増やしていくこと、近隣の車両と融通すること、これらも課題として挙げてはどうか。委託料の点から現在のi-バスミニの継続が難しいことも、課題としてあげてはどうか。

・ドライバー不足の議論となっているが、自動車学校が混雑していると聞いている。大型自動車運転免許が必要か。また、バス乗継を行う場合、ICカード利用のアナウンスが分かりづらい。知らない方には難しいため、改善していただけないか。

・現在の車両では、大型自動車運転免許は必要となっている。システムとしては、運賃を切り替えないと周回利用と認識されるため、どこかでタッチが必要となる。乗務員からの説明が無かったとの話であるが、接遇改善を図る。

・システムの問題と、どのように現場で対応するかの問題である。どのようにしたら、お互いに分かりやすく利用できるか、検討したい。

協議事項

■第3次計画の基本方針と目標

・事務局より資料説明

○事業⑥－3 近隣市との連携について

《意見・要望》

・江南市についても連携内容を記載できると良い。

・江南市との協議も必要であるが、記載する方向で進めたい。

○計画の基本方針と目標について

《意見・要望》

・総合計画が上位計画に位置付けられている計画であり、SDGS の考え方もある中で、本計画では何が関連するか。カーボンニュートラルについても、触れてはどうか。

・カーボンニュートラル等については、総合計画等でも頭出しとしては記載があるが、具体事業の記載がない市町が多い。ご提案いただいた通り、重要な視点であり、どのように盛り込むか検討を進めたい。SDGS 中の 11.2 が公共交通に関する項目となっており、「2030 年までに、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する」とある。記載することで、世界的にも公共交通が重要項目として挙げられていることを市民にも理解いただけると良い。

・計画に、しっかり表記していただけるとありがたい。公共交通は、環境面だけではなく、健康面にも寄与すると考える。また、認知症予防につながるとも言われている。そのような視点から考慮していることを記載いただき、少しでも多くの方に意識してもらえようをお願いしたい。

・ご指摘通り、近年は「けんこう」を「健幸」と表記して取り組む市町もあるくらい、健康との関連性は高い。健康部署とも連携できるよう、市でも検討していただきたい。

・SDGS やカーボンニュートラルについて、目標等に大々的に掲げると、燃費が低い電気バスの導入など、間違った議論に発展する場合がある。公共交通のサービスレベルを高め、自動車からの転換を促し、自然にCO₂削減などにつながるまちづくりとしたい。市民への無理強いに頼った公共交通に継続性はない。経済性だけではない議論が必要である。例えば、日本においては環境のために行動を変える方は、ほぼいない。やはり、便利であり利用する、自然に行動が変わることが大事である。それは、5年、10年かけて変わっていくことであり、一宮市はそのような方向を目指したいと考える。

・一宮市のエネルギー計画はどうなっているのかともつながる。例えば、一宮市内で再生エネルギーが生成できるのであれば、連携することも考えられる。多様な視点から議論できると良い。一宮駅の拠点化について、イメージ図の記載があるが、どのような議論があるか。計画において、他の事例やイメージをあげない方が良い。必要であれば、参考資料に事例集を掲載したほうが良い。具体の構想があるならば、イメージの掲載も良いが、オリジナルの計画内容を記載すべきである。バス停案内の改善、空間づくりなど、具

体的に実施する内容を段階的に記載してはどうか。一宮駅の待ち環境は非常に良い。

・一宮駅については、都市計画課で検討しており連携したい。

・一宮駅だけではなく、浅井などでも交通拠点を整備できれば、居場所づくりにもつながる。全国でも良い事例が出てきている。懇談会でも、そのような議論ができると良い。

○新しい公共交通について

《質疑応答》

・具体的には何を指すか。自動運転などではなく、地域で取り組む交通か。

→新しい公共交通については、ご指摘の通り、地域と議論した地域のための公共交通という認識である。(名古屋大学より回答)

○都市計画マスタープランで位置付けられた路線について

《意見・要望》

・どの路線が対象か、分かりやすいように追記をお願いしたい。

→計画内での具体の提案は必要であると認識しているが、交通事業者との調整がまだできていないため、一人歩きする懸念があり、提示できていない。(名古屋大学より説明)

○木曾川・北方コースについて

《意見・要望》

・国の補助要件が外れる予定であり、具体的な検討が必要である。計画への記載はこのままで良いが、より良い公共交通となるように進めていただきたい。

→状況は認識しており、地域と議論を深めていく予定である。(名古屋大学より説明)

○まとめ

・まだ作成段階であるため、会議後でもご意見あれば、ぜひ事務局へお願いしたい。

・検討の方向として良いかどうか、挙手をお願いしたい。

《協議結果：全員賛成》

3. その他

4. 閉会